

山行報告書

受付 No.	179	登山地・ルート	将棋頭山～小黒川本谷遡行～	
目的	釜ノ沢遡行に向けてのトレーニング			
メンバー	L：大山、岡村			
行動記録				

月 日 曜	天候	ポイント地点・所要タイム				
9・14・日	晴れ /曇	浜松＝桂木場 P	マナイタダラ沢出合	将棋頭沢出合	登山道	桂木場 P＝浜松
		7:00	7:53	9:40	13:50	17:20
・	・					

記事 目的の成否・状況・問題点(反省)・メンバーの状況・ルートの注意点・自然状況

先週、1泊で予定していた山行だったが、沢で1泊することを考えると、天気を警戒しすぎて中止にしてしまった。今回は日帰りで行けるとこまでとしたので少しは気が楽になった。

地形図とは違い、桂木場の駐車場から舗装された林道を行くと河原に出る。ここまで入っている車もあった。その先も、地形図にない巨大な堰堤ができていてその脇を登山道 or ステンレス製の階段で行くと小黒川にかかる丸太をつなげた橋に出て、ここから遡行を開始した。水量はたぶん少な目ののだと思う。渡渉にも苦勞なく楽しんで水の中を歩くことができた。

最初の滝。ホールドもスタンスも細かめで、取り付いてみたもののしり込みして巻こうとすると、岡村さんが「行ってみます！」と言って、見事なバランスで越えていった。仕方なく自分もビビりながら水の流れからそれたもう少し大きめのホールド&スタンスを使って登る。続いてゴルジュの中の二段の滝は右の斜面をロープを出して高巻く。その先の滝も、自分が登れなかったところを岡村さんが先に登ってスリングを垂らしてもらったりで、おかげで巻くよりだいぶ時間短縮できたと思う。

マナイタダラ沢と将棋頭沢の分岐は分かりやすく、迷うことなく右へ右へと進んで行ったが、その先に同じくらいの沢幅の分岐があり、時間をかけて検討した結果、右へ進路を取った。その先も地形図とコンパスで沢の方向を見ながら進んで、間違いないと思っていたのだが、遡行図にある25m滝がなかなか出てこなくて、おかしいなあ～と言っているうちに水量が減ってやがて伏流になり、岩のごろごろした源頭を登って行ったら登山道に出た。目標としていた西駒山荘の標高より約100m低くて、ここにきて初めて沢筋を間違えたことに気づく。でもまあ最後のナメ滝はきれいだったし、時間も早く終了できたし、結果オーライと慰めながら沢装備を解く。

天気は、遡行スタート時にぱらっときただけで、あとは日が出たり陰ったりの繰り返しだった。下山には信州大ルートを取ったけれど、ここは笹藪のなかの踏み跡をたどって行くようなところがあったり、笹藪のなかのトラバースの斜面側が崩れていたりで、事前に花村さんに言われたとおり、暗くなってからの下山は危ないと思った。

岡村さんは、アグレッシブな沢のぼりをやりたい人には素晴らしいパートナーになると思う。

紙面不足の場合は裏面へ

報告者	大山	受付	平成	年	月	日	受付者	
-----	----	----	----	---	---	---	-----	--